

# 一般質問

## 平成25年度政策提言から

市民クラブ 竹内勝利

**問** 国道140号大滝トンネルおよび県道久長秩父線蒔田トンネル整備について。

**答** 大滝地区では、災害が発生し危険性の回避や通行の安全性を確保するためには、荒川・大滝間のトンネル建設は有効でかつ時間短縮にもなり、早期に整備する事は重要な事であると考えている。秩父市内への市民の通勤通学道路であるとともに秩父みどりが丘工業団地へのアクセス道路としても重要と考えられる。今後引き続き国、県および関係機関に対し、市ならびに期成同盟会から強く要望を続けると共に、早期実現化に向けて事業の推進に取り組んでいきたいと考えている。

**問** 秩父祭のユネスコ無形文化遺産への登録について。

**答** 「秩父祭については、更なる情報照会を求めるとの見解を発表し、市としては、その方針を踏まえながら、引き続き「無形文化遺産」登録に向けて、文化庁と協力していく考えである。

**問** 龍勢まつりの国指定文化財への登録について。

**答** 文化財とは、わが国の歴史、

文化等の正しい理解のため欠くことのできないものであり、かつ、将来への文化の向上発展の基礎をなすものである。教育文化庁から問い合わせが来た際に対応できるよう、吉田龍勢保存会や龍勢の国指定文化財をめざす協議会へ、神社の歴史や龍勢の変遷、民族文化財としての特色が明らかになるような資料の収集をお願いしているところである。

秩父の祭



## 秩父地域の産科の現状と対策

公明党 福井貴代

**問** 産科の現状と今後の対策は。

**答** 24年末に虹の橋クリニックが閉院することで、秩父郡市内で分娩できる施設は岩田産婦人科医院だけとなってしまふ。秩父地域の昨年度の出生数が約750人。このうち岩田産婦人科医院の分娩件数が400人弱。450人が上限であり、300人〜350人の方が秩父地域ではお産ができないことになる。現在、秩父近郊の産婦人科医療機関に患者の受け入れを依頼するとともに、産科医療機関の一覧表を作成し、患者さんへ周知。秩父消防本部にも出産時における救急搬送の増加への対応を要請。また埼玉医科大学病院と埼玉医大総合医療センターより、今年10月から2回、岩田産婦人科医院に産科医を派遣していただき、更に回数を増やしていただけるよう依頼している。岩田産婦人科医院では受け入れ強化のため、来年8月末に3床増床する事業を進めている。虹の橋クリニックでも、条件が整い次第再開することを望んでおり、再開に向け必要な支援をしていく。

**問** 市立病院への産科設置は。

**答** 近隣の大学病院に産科医師の派遣を要請したが、常勤医師の派遣は大変難しいとの回答。全国的な産科医不足の影響もあり、確保の目途は立っていない。

**問** 助産師外来導入への見解は。

**答** 嘱託医との連携や助産師の増員等、慎重な検討が必要であり、現状では難しい。



安心な出産を支える地域の産科医

- ◎こころの体温計導入について
- ◎小中学校の暑さ対策について
- ◎消費者教育の推進について

# 一般質問

## レアメタル等の回収・リサイクルについて

公明党 大久保 進

**問** 小型家電リサイクル法が成立したが、市の取り組みについて。

**答** 使用済み小型電子機器等からのレアメタル等の回収・リサイクルについては、秩父広域組合ですで行っており、事業形態も今の法律で定める制度の処理ルートに形になっているので市で独自に回収は行わない。

**問** 市のイベント会場に回収ボックスをおいて、回収できないか。

**答** イベント会場に、回収ボックスを設置し、小型電子機器等を回収できるシステムの構築については、秩父広域組合を中心に、他の4つの町とも調整を図っていく。  
**問** 市民への普及・啓発について。  
**答** 広報紙、ホームページを活用し、積極的に呼び掛けていく。

### ● 骨髄ドナーの継続的確保

**問** 骨髄ドナー登録者に助成制度が創設できないか。

**答** 日本赤十字社（骨髄データセンター）や各都道府県等（保健所）の協力を得てドナーと患者の登録や移植を行っている。せっかく登録しても、骨髄バンクの調整が開された段階で、調整が終了して

しまう割合が約50%近い状況である。理由は健康上の理由で、次に都合がつかない、仕事が終わらない等の理由である、しかし現実にはかなりの負担がかかるため、全国でもいくつかの自治体が助成制度を開始した。当市での助成制度については、早期の実施は難しい状況であるが、先進地の状況の把握と、周辺の自治体の状況を見ながら検討していく。



ゴミではなく宝の山

## 吉田地域の土砂たい積について

日本共産党秩父市議団 新井 康一

**問** 吉田の字柳久保で大規模な土砂の埋め立てが行なわれている。搬入予定量は約11万立方メートルというところで、毎朝10数台の大型ダンプカーが橋倉地内のフルーツ街道で道路の1車線をふさいで待機しており、危険だし、相当な量の土砂が搬入されているようで、地域の人は皆野町金沢と同じようになったら大変と心配している。

あの場所が崩落すると鉢久保林道だけでなく、県道皆野両神荒川線までふさがれることにもなりかねない。今年から業者が変わり、面積が1万平方メートルを超えたため管轄が環境管理事務所から農林振興センターになった。地元の話では、以前の業者の時には環境管理事務所が時々来ていたが、今回の業者になってからは、あまり来っていないようだ。農林振興センターはきちんと指導しているのか、市はどのように把握しているのか。

**答** 柳久保の林地開発は24年4月16日に、災害や事故の防止に万全を期すこと、土砂以外の搬入・埋め立ては行なわないこと、林地に被害を及ぼさないこと、などを条件に市の意見も踏まえて県が許可

### ● 産科医の現状と対策

**問** 虹の橋クリニックが24年内で閉院するというが、秩父地域の産科医療の現状と今後の対応は。

**答** 大変厳しい状況。市立病院に産科を開設するという目標に向けて医師の確保に努力していく。

した。フルーツ街道のダンプの縦列駐車については業者に対して強く指導をするとのことである。



大量の土砂が搬入されている柳久保の現場

# 一般質問

## 市民生活の安心・安全をめざして

日本共産党秩父市議団 齋藤捷栄

### ●国保広域化支援方針の現状と課題について

問

国保加入世帯の職業別構成は、2002年以来高齢無職と被用者割合が75%を超えている。世帯所得は1990年には240万円であったものが2010年には148万円にまで落ち込んでいる。原因は、高齢化と雇用破壊で低賃金の非正規労働者が大量に流入していることによる。そうした背景下で、今、国保を広域化しようとする法改正がされ、埼玉県も後期高齢者医療制度と同様な広域化を図るため、広域化支援方針を策定しているが、その状況と秩父市における対応について伺いたい。

答 埼玉県市町村国保広域化支援方針は、国保税の規模別目標収納率の達成支援、国保税の賦課方式の2方式化への推進、保険財政共同安定化事業における対象医療費の拡大などとなっている。

秩父市国保は、ここ数年大変厳しい運営を余儀なくされており、将来にわたって国保の安定的な仕組み維持のために、保険税の2方式化について様々な検討を進めていかなければならないと考えてい

る。ただ、1人あたり保険税が他市に比べて低く抑えられている秩父市は、広域化により保険税負担が増加することも予想される。保険料をはじめとする県の方針についても、国の「国民会議」における議論の方向性や動向を踏まえて検討していきたいとの意向であり、現段階でははっきりとした状況は見えていない状況である。

問



秩父市国民健康保険証

◎議員定数に関する市長基本認識

## 新たな田村の土砂たい積問題

日本共産党秩父市議団 出浦章恵

### 問

田村地域で田嶋産業が行った土砂たい積の改善が完了していないにもかかわらず、新日本緑化建設が田嶋産業から買収した土地でたい積を行う計画があり、これまでの経過を見て同様の事が繰り返されないか。田嶋産業の改善状況はどうか。さらに先日、皆野町金沢の山林の建設残土の崩落で住宅2棟が全壊した。このようなことが絶対無いとは言えない。田村住民の生活の場の安心・安全の保障は。3千平方メートル以下で市の管轄となるが、今後の対応は。

答 田嶋産業には、県が超過たい積の是正を求め指導、勧告、報告徴収を繰り返している、秩父環境管理事務所が5回の現地調査で搬出車両が現実に土砂を搬出していることを確認した。11月16日の勧告で早期搬出と、引き続き毎月の搬出量の報告する事と改善勧告を行っている、定期パトロールを週1回行っている。引き続き撤去指導すると聞いている。市も協力する考え。

新たなたい積については、11月7日に事業者から事前協議書の提出にきたが、添付書類に不備があったため書類を返却した。その

後、12月4日再度、事前協議書の提出があり、市の担当者が一旦書類を預かり、現在内容を審査しているところである。

田嶋産業の問題や皆野町金沢の事例などから田村住民の不安感は十分理解できる。土砂たい積条例に基づき事務処理を行う。秩父市は水源地で環境立市であり、住民を守っていく考えである。



新たな田村地区のたい積計画地

# 一般質問

## 温泉リハビリ施設の開設について

金崎昌之

**問** 「秩父地域に温水歩行リハビリができる施設が無くて困っている」という話を聞く。一方、小鹿野町では「旧クアパレスおがの」を温泉リハビリ施設として再活用しようとの動きが始まっている。

**答** ちちぶ定住自立圏に、この施設の再活用を支援しながら、圏域全体で利用できる仕組みを作ることが求められていると考えるが。

**問** ちちぶ定住自立圏・ちちぶ医療協議会のリハビリテーション分科会で「温水歩行リハビリ」について協議をしていただくよう、働きかけていきたい。

### ●街コン1年の成果と課題と今後

**問** 行政として街コンの後方支援を表明して1年。レッドアローを使った「鉄コン」(2回)やスポーツを通じての出会いの場「きらめきスポ婚」、そして「秩父コンinばんば」等が開催された。その成果と課題、今後の取り組みは。

**答** どの事業も課題は特になく、盛況のうちに実施できたと聞く。今後、後援や協力等の支援で地域活性化に寄与したい。

### ●地元中小零細企業支援について

**問** 期待がふくらむ大規模企業の誘致だが、一方で忘れてならないのは、厳しい経済状況の中で、地域の雇用や経済を下支えし、踏ん張っている地元中小零細企業の存在とその支援だと考える。求められている支援と、その対策は。

**答** 求められている支援は、人・モノ・金・情報等。今年度から企業支援策の再編成を行い、ニーズが高いものに重点を置く等に対応。



リハビリ体制の充実をうたう「ちちぶ定住自立圏の案内書」

## 子ども・子育て支援について

日本共産党秩父市議団 山中進

**問** 子ども・子育て支援法は参議院の審議の中で多くの矛盾や問題点が明らかになっている。児童福祉法24条の「市町村の保育実施義務」から「子ども・子育て支援法」

「認定こども園法」「関連法律修正法」等に基づき、子ども・子育て会議の構成メンバーは。

**答** 保護者、市長、事業主、保育士、学識経験者からなる。

**問** 公立保育所の検討は、維持していくのか、民間保育園に対して委託、指定管理者制度の活用か。また企業参入を認めていくことは、保育環境を悪化させることにも繋がる恐れがある、市の考えは。

**答** 市町村の責任が曖昧になるとは認識していない。市立保育所の民営化や指定管理者は考えていない。また、企業参入は許さない。

**問** 新システムでは、市が保育の必要量と必要量を認定することになっているが、保護者の就労が基本とされる。また、県や市は国の基準に基づき条例化するが、子どもにとって必要な保育が受けられなくなる恐れがある、市の考えは。

**答** 国の基準より子どもの安全を配慮し、全ての子どもにとって最

善になるよう条例化したい。

### ●樹林(木)墓地の整備について

**問** 永代使用を前提としない人が増えている。夫婦だけの墓地やペットと一緒に、自然に囲まれ眠りたい、死してなお自分らしくありたいと思う人たちの為に整備できないか。

**答** 研究を重ね聖地公園の整備を行っていく。



くわの実保育園



聖地公園